

東北太平洋漁港ブロック協議会

年度	日時・場所	議事等	参加者
令和4	7月14日(木) 15時～ 宮城県仙台市 仙台ガーデンパレス	<p>議事:第71回全国漁港漁場大会への提言事項(案)について</p> <p>1 新たな「漁港漁場整備長期計画」に基づき漁港・漁場・漁村の整備を将来にわたり計画的に行われることが必要であることから、着実にその事業を進めていくため予算の確保を含めた支援を行うこと</p> <p>2 水産政策の改革に即し水産業の成長産業化を実現するため、次に掲げる項目(3項目省略)を推進すること</p> <p>講演:水産庁漁港漁場整備部 防災漁村課 「新たな漁港漁場整備長期計画について」</p> <p>事例紹介:宮城県水産業基盤整備課 「宮城県におけるブルーカーボンの取組について」</p>	<p>来賓:水産庁漁港漁場整備部、(公社)全国漁港漁場協会、宮城県水産林政部</p> <p>主催者:宮城県漁港漁場協会 (宮城県協会)県10、市町17、漁協3、協会3</p> <p>(青森県)県1、協会5、(岩手県)県2、協会2、 (福島県)市1、協会3</p>
令和5	7月11日(火) 15時～ 福島県福島市 コラッセふくしま	<p>議事:第72回全国漁港漁場大会への提言事項について(案)</p> <p>1 「漁港漁場整備長期計画」に基づき漁港・漁場・漁村の整備を将来にわたり計画的に行なうとともに、東日本大震災の影響を未だ受けている漁港・漁場・漁村の復旧・復興を完遂させることが必要であることから、着実にその事業を進めていくための予算の確保を含めた支援を行うこと。</p> <p>2 ALPS処理水の海洋放出については、理解醸成の途上であり、漁業関係者も風評の発生を強く懸念している。このため、国内外の理解醸成に向け、IAEA等の国際機関と連携し科学的な事実に基づく情報を積極的に発信するなど、新たな風評を発生させないよう水産業に対する万全な風評対策に責任を持って取り組むこと。</p> <p>3 水産政策の改革を即し持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化を実現するため、次に掲げる項目(4項目省略)を推進すること。</p> <p>講演:水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 「海業の推進について」</p> <p>事例紹介:福島県水産海洋研究センター副所長兼海洋漁業部長 「福島県沿岸におけるタチウオ、トラフグ、イセエビの漁獲状況」</p> <p>事例紹介:福島県水産資源研究所 「福島県沿岸におけるトラフグの漁獲状況及び試験研究」</p>	<p>来賓:水産庁漁港漁場整備部防災漁村課、(公社)全国漁港漁場協会、福島県土木部</p> <p>主催者:福島県港湾漁港協会 (福島県協会)県14、市2、協会10</p> <p>(青森県)協会4、(岩手県)県2、町1、協会4 (宮城県)県2、市1、協会1</p>